

令和4年度

野外彫刻鑑賞アートウォーキング
「新緑の芸術鑑賞」
～震生湖・渋沢丘陵を巡る～

事業報告

令和4年5月25日（水）実施

主催：秦野市
協力：秦野市観光ボランティアの会
彫刻愛し隊

【行 程】

| 時 間 | 内 容 |
|--------------------|---|
| 10:00 | 秦野駅改札前 集合 |
| 10:05~10:35 | 秦野駅南口：彫刻の説明 ・雲のある風景 ・異石風景 ・風 ・COSMIC IN HADANO -contour「切り取られた地層」 ・CHAIR OF SKY(空の椅子) ・重力の無い風景 |
| 10:35~11:10 | ウォーキング (秦野駅 ~ 太岳院 ~ 今泉名水桜公園 ~ まいまいの泉 ~ 白笹稻荷神社 ~ 震生湖) 【約3km】 |
| 震生湖到着 (40分間) | 震生湖で昼食・トイレ休憩 |
| 昼食後 11:50~13:45 | ウォーキング (震生湖 ~ 福寿弁財天 ~ 栢窪会館 ~ 渋沢神社 ~ 喜叟寺 ~ 渋沢駅) 【約4km】 |
| 13:40~14:00 | 渋沢駅：彫刻の説明 南口・幸福を運ぶ風 北口・浮くかたち-赤 ・風景の器 ・MY FAMILY |
| | 渋沢駅解散 |

[参加者]

一 般 8名、 事務局 3名

関係者 6名 (彫刻愛し隊 4名、観光ボランティアの会 2名)

【概要】

- ・ 出発地である秦野駅(南口)の彫刻 6 基及び目的地の渋沢駅(南・北口)の彫刻 4 基の鑑賞が主。
- ・ 今回は、ウォーキング部分をスポーツ(運動)と見なし、『チャレンジデー』の特別イベントの 1 つに位置づけ。
- ・ ウォーキングに当たっての観光ガイドを、秦野市観光ボランティアの会(秦野市観光協会)に対応依頼した。

【プログラム】

- 1 開会・あいさつ
事務局 小泉課長、吉門課長代理、林主査
- 2 協力者紹介
 - ・ 秦野市観光ボランティアの会 鈴木副会長 百瀬
 - ・ 彫刻愛し隊 : 蓮池、戸口、角田、佐藤
- 3 ガイダンス
- 4 彫刻鑑賞 1 (秦野駅南口広場)
- 5 ウォーキング・午前
- 6 昼食(震生湖)
- 7 ウォーキング・午後
- 8 彫刻鑑賞 2 (渋沢駅前広場)
- 9 あいさつ・解散

4 彫刻鑑賞 1 (秦野駅南口広場)

- (1) 風
- (2) COSMIC IN HADANO -contour 「切り取られた地層」
- (3) 重力の無い風景
- (4) CHAIR OF SKY「空の椅子」
- (5) 雲のある風景
- (6) 異石風景



※ 鑑賞順は、(1)～(6)

※ (1)「風」、(2)「COSMIC IN HADANO」については、ロータリー内にあり、近づけないため、駅舎2階連絡通路(ガラス貼り面)からの鑑賞及び解説を行いました。

※ (3)～(6)の作品には、いずれも、腰掛のような(座れる)部位が作品に含まれていることから、制作時に意図的に含んだのか、審査時に意図的に選出したのか質問があった。

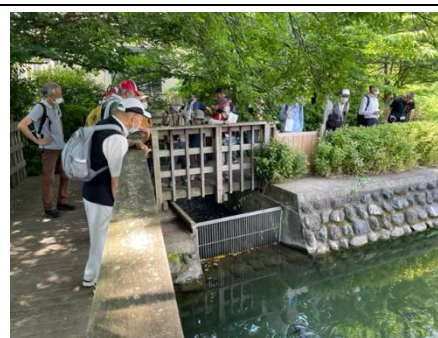
5 ウォーキング・午前



前田夕暮 碑



太岳院



今泉名水桜公園



白笹稲荷神社



青龍



朱雀



白虎



玄武

白笹稲荷神社 内



震生湖に向かう道



震生湖

7 ウォーキング・午後



震生湖



向山配水場



渋沢丘陵



栃窪会館



渋沢神社



喜叟寺

8 彫刻鑑賞 2 (渋沢駅前広場)

- (1) 幸福を運ぶ風
- (2) 浮くかたちー赤
- (3) 風景の器
- (4) MY FAMILY



「幸福を運ぶ風」



渋沢駅 敷設の由来



愛し隊 (戸口氏: 説明)



「浮くかたち-赤」



「風景の器」



「MY FAMILY」

9 あいさつ・解散

- ・参加者への謝辞
- ・彫刻愛し隊、観光ボランティアへの謝辞
- ・他の野外彫刻の鑑賞勸奨
(配布した「彫刻マップ」を御利用ください)
(市ホームページでも詳細を掲載中。)
- ・秦野市観光協会主催ハイキングの紹介、参加勸奨。
- ・事務局が一括して、チャレンジデー参加実績報告をしておく旨説明。
- ・参加賞(ノベルティ)として、以下物品を配布。
_秦野名水PR用ボトルドウォーター「おいしい秦野の水ー丹沢の雫ー」 (環境共生課)
_はだのチャレンジデー2022 ロゴ入り シューズバッグ

【参加者からの感想】

- ・参加して、良かった(彫刻鑑賞・観光ハイキング)。
- ・彫刻のことを知る機会ができて、良かった。
- ・普段利用する駅に、彫刻があることを知らなかった。
- ・今後、意識して、市内の彫刻をみていきたい。
- ・秦野市に多くの彫刻があって羨ましい(市外参加者)
- ・参加賞、うれしかった。

【まとめ・考察等】

- ・彫刻鑑賞時の説明は、事務局（市職員）。
- ・ウォーキング部分（全体の7割）は、観光ボランティアの会による先導、案内（ガイド）。
- ・総距離：約 7.5 km、歩行時間：約 3 時間 30 分
累積標高差：約 180m
- ・参加者の年齢層は、概ね 50～70 歳代。
- ・参加者最高齢（見込）の方は、先頭集団から遅れるかたちで集団に付いていくことに終始していた。
- ・今回は、チャレンジデーに絡めた企画であったため、ウォーキングをハイキングに近い形での実施をしたが、彫刻鑑賞を主とする本事業においては、長距離行程の企画に難ありとの印象を受けた。
- ・これは、距離だけの問題ではなく、主旨（彫刻鑑賞）以外の部分を、事務局が対応（ガイド）しきれないという問題点も孕んでいる。

- ・手持ち(市で把握している彫刻情報)の解説に限界はあったが、そもそも彫刻は美術作品であることから、解説役など第三者の意見(見方・想像・好き嫌い)などは踏まえることを避けるべきものである。

その旨を参加者に説明し、作品に対する直接的な質問を控えていただいたが、参加者もご理解いただけたようであった。